

■「部門設定1」シート

入院部門			外来部門			中央診療部門			補助・管理部門		
貴病院の入院 病棟名	貴病院の入院 患者の診療科	レセプト診療 科 による分類	貴病院の外来 患者の診療科	レセプト診療 科 による分類	貴病院の 部門名	手術 検査 画像診断 リハビリテーション※ 人工透析※ 薬剤 栄養 地域連携 健診※ その他 による分類	貴病院の 部門名	医事 用度 総務 施設管理 情報管理 図書室 による分類	医事	用度	総務
西3階	内 科	01内科	内 科	01内科	第 一 手 術 室	手術	医 事 課	医事	・	・	・
東4階	神 経 内 科	01内科	整 形 外 科	11整形外科	第 二 手 術 室	手術	用 度 課	用度	・	・	・
西4階	外 科	10外科	産 婦 人 科	23産婦人科	中 央 検 査 室	検査	庶 務 課	総務	・	・	・
① 貴病院の病棟名を記入して			④ 貴病院における外来の診療科名を記入して			⑦ 中央診療部門に関する貴病			⑩ 補助・管理部門として記入した貴病院の部門 に対応する分類をプルダウンメニューより選択 してください。 なお、同一の部署に複数の部門が該当する 場合は、下図のように同名の部署を複数列挙の上 該当する部門名をプルダウンメニューより選択 してください。		
② 貴病院における入院の診療科名を記入して			⑤ 貴病院の診療科に対応する診療報酬請求時の「診療科コード」をプル			⑧ 中央診療部門として記入した貴病院の部門に 対応する分類をプルダウンメ			⑨ 補助・管理部門に する貴病院の部門名を		
③ 貴病院の診療科に対応する診療報酬請求時の「診療科コード」をプル			⑥ なお、検診センター等を含め、貴病院の入院外来患者の診療科に複数のレセプト診療科が該当する場合には、下図のように同名の貴病院診療科を複数列挙の上、該当する「診療科コード」をプルダウンメニューにより選択してください。			⑩ 補助・管理部門として記入した貴病院の部門に対応する分類をプルダウンメニューより選択してください。			※選択に当たっては、実態に即した分類をお願いいたします。		

※リハ・人工透析・健診については、以下の点に注意してください。

■リハビリテーション部門
貴病院のリハビリテーションを実施する部門で、診療科(リハビリテーション科)としての報酬の算定がある場合は、入院・外来のリハビリテーション科と対応づけてください。ただし、診療科とは別にリハを実施する場所があり、かつそれが、
・当該部門用の面積・スペースが確保されている
・複数の診療科の患者が利用する
場合は、その部分は中央診療部門の「リハビリテーション」に対応づけてください。

■人工透析部門
貴病院が「人工透析」部門を保有している場合は、中央診療部門の「人工透析」に対応づけてください。院内で診療科として管理している場合でも、面積や職員数を独立して把握できる場合には、中央診療部門として取り扱ってください。

■健診部門
貴病院が「健診」部門を保有している場合は、中央診療部門の「健診」に対応づけてください。
→考え方は、「記入要領」を参考にしてください。

補助・管理部門の考え方

分類名	分類の考え方	業務例	部門名(例)
医事	主に医療事務を担当している部署	診療受付、診療料会計、診療報酬の請求等	外来係、入院係、看護部長室、医療相談室、地域医療連携室...
用度	主に資材の調達・管理事務を担当している部署	物品購入・管理、役務の契約等	用度係...
総務	主に庶務・企画・人事関係の事務を担当している部署	事務文書管理、病院事業の企画、職員の人事・給与管理等	庶務係、事務部長室、秘書課、経理課、人事企画室...
施設管理	主に病院施設の保守・管理事務を担当している部署	建物・機械等の保守・管理、電気・ガス・水道の管理、駐車場の管理等	施設係...
情報管理	主に診療行為から発生する診療情報の管理事務を担当している部署	診療情報管理、院内の情報システム制御等	電算室...
図書室	-	図書の管理	図書室

上記の分類のどれにも当てはまらない部門がある場合には、「総務」を選択してください。

■「部門設定2」シート

レセプト診療科 による分類	再集計用 診療科群
01内科	内 科 群
02精神科	精 神 科 群
03神経科	内 科 群
09小児科	小 児 科 群
11整形外科	整 形 外 科 群

■ 貴病院のレセプト診療科に対応する「再集計用診療科群」をプルダウンメニューより選択してください。
(考え方は、「記入要領」を参考にしてください)

部門の考え方

ここでいう「部門」とは、
・当該部門用の面積・スペースがあり
・そこで働いている職員が存在する部門を指します。
上記に該当する貴病院の中央診療部

調査3 収支状況調査 記入要領

1. 調査目的

- 「医療機関の部門別収支に関する調査（以下、部門別調査という。）」では、平成20年10月分の貴病院全体の収益・費用を、レセプトの収益や月現在の各部署別のデータを用いて、診療科に割り振っていきます。この収支状況調査は、レセプト調査等で把握できない診療科別のデータについての調査です。

2. 調査概要

■調査票の構成

収支状況調査（エクセルファイル）は、以下シートで構成されています。

①-1 部門設定（確認用） 「部門設定調査」に基づく貴病院の部門を表示（確認用）	①-2 部門設定（入院部門） 入院部門の部署別の病床数・延べ患者数を記入	①-3 部門設定（外来部門） 外来部門の部署別の患者延べ数を記入	①-4 施設全体収支データ 平成20年10月の病院全体の収益・費用を記入	①-5 職種別人員数・給与データ 職種別の人員数・給与のデータを記入
②-1 歯科及び保険外診療医業収益等（入院・外来・中診） 入院・外来・中央診療部門の各部門における歯科及び保険外医業収益等の金額を記入	②-2 部署別歯科及び保険外診療医業収益等内訳（中診） 「②-1」で記入した中央診療部門の歯科及び保険外収益等の内訳を記入	③-1 基礎情報（入院・外来・中診） 入院・外来・中央診療部門の各部門における職種別人員数、建物面積等を記入		

■調査概要まとめ

項目	内容	
調査期間	平成20年10月（1ヶ月間）	
記入者	事務部門責任者等	
調査項目	部門設定	入院・外来部門の患者数、病床数
	病院全体収支	当該月の病院全体収支
	職員数	職種別の職員数、給与
	保険外収益	部門別の歯科・保険外収益、介護保険収益等（医科レセプト情報に計上されていない収益）
	基礎情報	入院、外来、中央診療部門、補助・管理部門の職種別人員数・面積
提出方法	「収支状況調査」調査票の各シートに、貴病院の上記項目を記入してください。 記入した調査票は、「部門別調査アドレス（×××）」宛に返信してください。	

3. データ作成にあたって

■作業概要（全体）

☞ 記入方法

「収支状況調査」調査票（エクセルファイル）の各シートの説明に従って入力してください。

データは黄色いセルへ入力してください。

- ✓ 黄色いセル…貴病院が入力するセル
- ✓ 紫色のセル…入力データの計算結果が表示されるセル（記入不要）
- ✓ 白色のセル…予め調査班が設定したセル（記入不要）

☞ 記入の範囲

貴病院組織一体として管理、経理している範囲が記入対象となります。貴法人内の関連組織や病院以外の組織は対象外となります。

例えば「健診センター」は病院とは別管理・別会計で運営している場合は除外し、病院と一体として管理、経理している場合は含めてください。

この病院組織の収支を、「①-4 施設全体収支データ」に記入していただくことになります。

■「①-1 部門設定 (確認用)」シート

☞ 確認事項

第2ステップ「部門設定調査」のデータから、貴病院の部門と「部門別調査」で規定している部門とを対応づけしました。設定に誤りがないか確認してください。なお、このシートは確認のためのものであり、記入箇所はありません。

■「①-2 部門設定 (入院部門 (病棟))」シート

☞ 確認事項

第2ステップ「部門設定調査」のデータから、貴病院の入院部門の病棟名、診療科を表示しました。内容に誤りがないか確認してください。記入内容平成20年10月における各病棟の使用可能病床数と、各病棟の診療科別延べ患者数を記入してください。

また、人工透析部門、健診部門として入院専用のベッドを保有している病院は、右端の欄にそのベッド数と延べ患者数も記入してください。

☞ チェック

記入した結果、確認メッセージが出た場合は、記入内容に間違いがないかもう一度確認してください。

また、病棟別の延べ患者数のチェックのために、貴病院のレセプト診療科の実日数を記載しました。大きな相違がある場合には記入内容をもう一度確認してください。

■「①-3 部門設定 (外来部門 (外来診療室))」シート

☞ 確認事項

第2ステップ「部門設定調査」のデータから、貴病院の外来部門の診療科名を表示しました。内容に誤りがないか確認してください。

☞ 記入内容

平成20年10月における各外来診療科の延べ患者数を記入してください。また、人工透析部門、健診部門がある病院は、当該部門の利用者(延べ患者数)も記入してください。この患者数は、他の入院部門(①-2)、外来部門(①-3)の患者数と重複しても結構です。

☞ チェック

外来診療科別の延べ患者数のチェックのために、貴病院のレセプト診療科の診療実日数を記載しました。大きな相違がある場合には記入内容をもう一度確認してください。

■「①-4 施設全体収支データ」シート

☞ 記入内容

平成20年10月(1ヶ月分)の貴病院全体の収益・費用と、参考値として平成19年度(1年分)の収益・費用を記入してください。全ての収益・費用の科目は、病院会計準則の定義に沿って記入してください。

平成20年10月分の収益・費用は、実際に現金が出入した金額ではなく、月に収益・費用として発生した金額を記入してください。

(収益・費用の考え方)

収益	(保険収入) 10月分としてレセプト請求した金額 (保険外収入) 10月に提供したサービスに対する収入金額 (その他) 月分相当の補助金、負担金等
費用	月に費用が発生したと考えられる金額 ・医薬品費等は、10月に費消した金額(購入価格) ・減価償却費等の1年間で計算する費用は、当年度(前年度から変更がなければ前年度)の1/12 ・月に支払いがなくても継続的に発生する費用は、10月相当分の金額

☞ チェック

表の右側に、平成20年10月と平成19年度の収益費用の科目別構成比が表示されます。平成19年度と比較して平成20年10月の構成比が大きく異なる場合は、記入内容をもう一度確認してください。

■「①-5 職種別人員数・給与データ」シート

☞ 記入内容

平成20年10月の職種別人数、給与総額、賞与総額について記入してください。

■「②-1 歯科及び保険外診療医業収益等（入院・外来・中央診療部門）」シート

☞ 記入内容

「①-4 施設全体収支シート」の平成20年10月の貴病院全体の収益のうち、医科診療収入以外の収入※（歯科及び介護保険収益、保険外診療医業収益等）を、本表の診療科・病棟・部署毎に記入してください。

※医科診療収入以外の収入とは、歯科、介護保険、公害医療、労災保険、自動車損害賠償責任保険、自費診療、特別室の特別料金徴収額等をさします。

（貴病院の医科・保険収益については「レセプト調査」で調査しましたが、それ以外の収益についても収支計算に算入する必要があるため、本表にて記入を依頼するものです。）

■「②-2 部署別歯科及び保険外診療医業収益等内訳（中央診療部門）」シート

☞ 記入内容

「②-1 歯科及び保険外診療医業収益等（入院・外来・中央診療部門）」で記入した中央診療部門の歯科及び介護保険収益、保険外収益等について、それぞれの診療科毎の内訳を記入してください。

■「③ 基礎情報（入院・外来・中央診療・補助管理）」シート

☞ 記入内容

「(1) 入院」「(2) 外来」「(3) 中央診療」「(4) 補助・管理」の各部門における職種別人員数と面積を記入してください。

また、人工透析部門、健診部門を有する病院は、「(5) 人工透析・健診部門の収益」の欄に、貴病院が把握する人工透析部門の収益、健診部門の収益（いずれも保険収入+保険外収入の合計）を記入してください。

- 1のシートでは、貴病院の病院組織における入院部門、外来部門、中央診療部門、補助・管理部門に該当する部門名について確認いたします
(貴法人内の関連組織等、病院組織以外の組織は対象外となります)。

1. 部門設定調査のデータが記載されています。以下の(1)入院部門、(2)外来部門、(3)中央診療部門、(4)補助・管理部門に該当する貴病院の部門名について、誤りがないかご確認ください。

(1)入院部門(病棟)に該当する貴病院の部門名をご確認ください。

入院部門に該当する部署とは、入院患者に医療サービスを実施する部署となります。

(2)外来部門(外来診療室)に該当する貴病院の部門名をご確認ください。

外来部門(外来診療室)に該当する部署とは、外来患者に医療サービスを実施する部署となります。

(3)中央診療部門に該当する貴病院の部門名をご確認ください。

中央診療部門に該当する部署とは、入院、外来患者に共通した医療サービスを実施する部署となります。

(4)補助・管理部門に該当する貴病院の部門名をご確認ください。

補助・管理部門とは、貴病院の運営管理を行う部署を指しています
(医療サービスを行う部署、患者と直接関わる部署は含まれません)。

レセプト診療科による分類	貴病院の部門名
01 内科	
02 精神科	
03 神経科	
04 神経内科	
05 呼吸器科	
06 消化器科	
07 胃腸科	
08 循環器科	
09 小児科	
10 外科	
11 整形外科	
12 形成外科	
13 美容外科	
14 脳神経外科	
15 呼吸器外科	
16 心臓血管外科	
17 小児外科	
18 皮膚泌尿器科	
19 皮膚科	
20 泌尿器科	
21 性病科	
22 肛門科	
23 産婦人科	
24 産科	
25 婦人科	
26 眼科	
27 耳鼻咽喉科	
28 気管食道科	
29 (欠)	
30 放射線科	
31 麻酔科	
32 (欠)	
33 心療内科	
34 アレルギー科	
35 リウマチ科	
36 リハビリテーション科	
99 歯科	

レセプト診療科による分類	貴病院の部門名
01 内科	
02 精神科	
03 神経科	
04 神経内科	
05 呼吸器科	
06 消化器科	
07 胃腸科	
08 循環器科	
09 小児科	
10 外科	
11 整形外科	
12 形成外科	
13 美容外科	
14 脳神経外科	
15 呼吸器外科	
16 心臓血管外科	
17 小児外科	
18 皮膚泌尿器科	
19 皮膚科	
20 泌尿器科	
21 性病科	
22 肛門科	
23 産婦人科	
24 産科	
25 婦人科	
26 眼科	
27 耳鼻咽喉科	
28 気管食道科	
29 (欠)	
30 放射線科	
31 麻酔科	
32 (欠)	
33 心療内科	
34 アレルギー科	
35 リウマチ科	
36 リハビリテーション科	
99 歯科	

分類	貴病院の部門名
手術	
検査	
画像診断	
リハビリテーション	
人工透析	
薬剤	
栄養	

分類	貴病院の部門名
医事	
用度	
総務	
施設管理	

- 2 のシートでは、貴病院の病院組織における入院部門（病棟）の病床数、診療科別入院患者数等についてお伺いいたします（貴法人内の関連組織等、病院組織以外の組織は対象外となります）

1. 部門設定調査のデータが記載されています。貴病院の各病棟名について、誤りがないかご確認ください。
2. 部門設定調査のデータが記載されています。貴病院の各入院患者の診療科名について、誤りがないかご確認ください。
3. 各病棟の病床数をご記入ください。
4. 各病棟の診療科別延べ入院患者数をご記入ください。

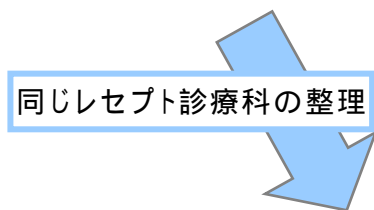
黄色のセルのみご記入ください。

下段に、レセプト集計結果による診療科別の診療実日数が表示されておりますので、診療科別の延べ入院患者数の合計値と比較の上、両者に大きな相違がある場合は、記載内容に間違いがないかをご確認ください。

「使用可能病床数」が未入力の場合、「延べ入院患者数」の値が「病床数 × 31(日)」の値を20%以上超えている場合に確認メッセージが表示されます

ので、入力した値を再度ご確認ください

病棟名	レセプト診療科名	合計(自動計算)	病棟1	病棟2	病棟3	病棟4
使用可能病床数		0床	2 病棟	3 病棟	5 病棟	6 病棟
平成19年7月の延べ入院患者数合計(自動計算)		合計:延べ0人	延べ0人	延べ0人	延べ0人	延べ0人
貴院の入院患者の診療科						



平成19年7月の延べ入院患者数合計(自動計算)	(参考値) レセプト集計結果 平成19年7月の診療実日数合計	合計(自動計算)
レセプト診療科名		

- 3のシートでは、貴病院の病院組織における外来部門（外来診療室）の延べ外来患者数についてお伺いいたします（貴法人内の関連組織等、病院組織以外の組織は対象外となります）。

1. 部門設定調査のデータが記載されています。貴病院の各外来診療科名について、誤りがないかご確認ください。
2. 延べ外来患者数をご記入ください（延べ外来患者数は数字のみご記入ください）

黄色のセルのみご記入ください。

下段の表には、自動計算で、上段の表に入力されたデータの診療科別の値が表示されます。

下段の表に、レセプト集計結果による診療科別の診療実日数が表示されておりますので、下段の自動計算後の診療科別延べ外来患者数の値と比較の上、両者に大きな相違がある場合は、記載内容に間違いがないかをご確認ください。

		合計(自動計算)	外来1	外来2	外来3	外来4	外来5	外来6	外来7	外来8	外来9	外来10	外来11
外来患者の診療科	外来診療科名												
	レセプト診療科名												
	平成19年7月の延べ外来患者数	合計:延べ0人											



診療科ごとに、平成19年7月の延べ外来患者数を記入してください。
 なお、診療科はあるが、平成19年7月の外来患者数が0人の場合は、「0人」と記入してください。

		合計(自動計算)	診療科1	診療科2	診療科3	診療科4	診療科5	診療科6	診療科7	診療科8	診療科9	診療科10	診療科11
外来におけるレセプト診療科	レセプト診療科名												
	(参考値)レセプト集計結果												
	平成19年7月の診療実日数合計												
	平成19年7月の延べ外来患者数	合計:延べ0人											

- 4のシートでは、貴病院の病院組織における施設全体の収支についてお伺いいたします（貴法人内の関連組織等、病院組織以外の組織は対象外となります）。

1. 以下の表に、貴病院における平成19年7月、平成18年度総計の収益、費用の数値をご記入ください。

黄色のセルのみご記入ください。

全ての収支科目は病院会計準則の定義に沿ってご記入ください。

平成19年7月分では、全ての収支科目について1か月分の収益、費用をご記入ください。

（給与費における賞与は、「直近の賞与総額 ÷ (12 ÷ 年間の賞与支給回数)」にてお求めください。

他の全ての収支科目においても、平成19年7月に発生した収益、費用をご記入ください。）

平成19年7月に特別な支出等が発生していた場合には、該当費用を月平均にした上でご記入ください。

また、他の特定月にしか発生しない費用についても、直近支払額や昨年度実績を対象月数で割り、1か月分にてご記入ください。

右側に自動計算で、平成19年7月分の収益、費用と平成18年度総計の収益、費用の科目別構成比が表示されますので、ご参考ください。

科目1	科目2	科目3	科目4	平成19年7月分	平成18年度 総計		
医業収益	入院診療収益						
	室料差額収益						
	外来診療収益						
	保健予防活動収益						
	受託検査・施設利用収益						
	その他の医業収益						
	合計			0	0		
	保険等査定減						
医業費用	材料費	医薬品費					
		診療材料費					
		医療消耗器具備品費					
		給食用材料費					
	給与費	給料					
		賞与					
		賞与引当金繰入額					
		退職給与費用					
		法定福利費					
	委託費	検査委託費					
		給食委託費					
		寝具委託費					
		医事委託費					
		清掃委託費					
		保守委託費					
	その他の委託費						
	設備関係費	減価償却費	医療用器械備品減価償却費				
			放射性同位元素減価償却費				
			その他の減価償却費				
		器機賃借料	医療用器機賃借料				
			その他の器機賃借料				
		地代家賃					
			修繕費	医療用器械修繕費			
				その他の修繕費			
		固定資産税等					
			器機保守料	医療用器機保守料			
			その他の器機保守料				
器機設備保険料		医療用器機設備保険料					
		その他の器機設備保険料					
車両関係費							
研究研修費	研究費						
	研修費						
経費	福利厚生費						
	旅費交通費						
	職員被服費						
	通信費						
	広告宣伝費						
	消耗品費						
	消耗器具備品費						
	会議費						
	水道光熱費						
	保険料						
	交際費						
	諸会費						
	租税公課						
	医業貸倒損失						
貸倒引当金繰入額							
雑費							
控除対象外消費税等負担額							
本部費配賦額							
合計			0	0			
医業外収益	受取利息及び配当金						
	有価証券売却益						
	運営費補助金収益						
	施設設備補助金収益						
	患者外給食収益						
	その他の医業外収益						
合計			0	0			
医業外費用	支払利息						
	有価証券売却損						
	患者外給食用材料費						
	診療費免減額						
	医業外貸倒損失						
	貸倒引当金医業外繰入額						
その他の医業外費用							
合計			0	0			

平成19年7月時点での、科目別に、施設全体収支データを記入してください。加えて、平成18年度総計のデータを記入してください。金額が0円の場合は、「0」をご記入ください。

-5のシートでは、貴病院の病院組織における職種別の人員数および給与についてお伺いいたします（貴法人内の関連組織等、病院組織以外の組織は対象外となります）。

1. まず、以下の(1)で、貴病院における職種別の常勤の人員数及び非常勤の月間総勤務時間、常勤・非常勤それぞれの給与総額等をご記入ください。

黄色のセルのみご記入ください。

常勤とは全診療時間を通じて勤務する者、非常勤とは常勤以外の、たとえば他の病院などからパートタイムで来ているような者をいいます。

常勤・非常勤の「給与総額」、および常勤+非常勤の「賞与総額」は平成19年7月1か月分についてご記入ください。

なお、シート-4における平成19年7月の給与費の「給料」と、本調査票(シート-5)における常勤・非常勤の給与総額の合計値、

およびシート-4における平成19年7月の給与費の「賞与」と、本調査票(シート-5)における常勤・非常勤の賞与総額が等しくなるよう

ご記入ください。

(職種別賞与総額は、「直近に発生した職種別賞与の総額 ÷ (12 ÷ 年間の賞与支給回数)」にて1か月分をお求めください。)

常勤換算後人員数(右側・自動計算)について、非常勤の人員数は、職種別に個々の非常勤職員の実労働時間を常勤者の所定労働時間で除して常勤換算し、その個々の換算値を常勤の人員数に合計して求めています。

2. ご記入が完了しましたら、上段の確認表に入力されたデータが反映されますので、シート-4の値との整合性をご確認ください。
(どちらかの値が未入力の場合、誤差が±10%以上ある場合、確認メッセージが出ますので、入力した値を再度ご確認ください)

合計(科目)と職種別・常勤非常勤別内訳の確認表

2. 以下の確認表で、各シート間(-4、-5)の整合性をご確認ください。
シート-5の値が、シート-4の値と等しくなります。

科目		A. 施設全体収支データにおける 給料・賞与総額 (シート-4上段の値)	B. 職種別給与データにおける 常勤・非常勤計の給料・賞与総額 (シート-5下段の値)	AとBの差分(A-B)	誤差割合
給与費	給料	0円	0円	0円	
	賞与	0円	0円	0円	

(1) 貴病院の平成19年7月現在の各職種の人員数及び年間総勤務時間についてもご記入下さい。また、貴病院の医業費用における給与費(平成19年7月分)を職種別に記入して下さい。

職種	常勤		非常勤		常勤+非常勤 賞与総額 (単位:円/月)	常勤換算後人員数(自 動計算) (単位:人)
	人員数計 (単位:人/月)	給料総額 (単位:円/月)	総勤務時間 (単位:時間)	給料総額 (単位:円/月)		
医師						0.00人
歯科医師						0.00人
看護師						0.00人
准看護師						0.00人
看護補助員(介護職含む)						0.00人
薬剤師						0.00人
理学療法士、作業療法士、言語聴覚士						0.00人
栄養士						0.00人
MSWや放射線技師等、その他の医療技術員						0.00人
技能労務員・労務員						0.00人
事務職員						0.00人
病院長						0.00人
役員						0.00人
その他						0.00人
合計	0人	0円	0.00時間	0円	0円	0.00人

常勤者1人当りの勤務体系(平成19年7月時点)	
1ヶ月当たり所定労働日数 (単位:日/月)	1日当たり所定労働時間 (単位:時間/日)

注) 看護補助員 : 看護師、准看護師などの資格を持たない看護補助者(介護職含む)
 その他の医療技術員 : 理学療法士(PT)、作業療法士(OT)、言語聴覚士(ST)、栄養士以外の、MSW(医療ソーシャルワーカー)、放射線・X線技師、臨床検査技師、臨床工学技士などの医療技術員
 技能労務員 : 電気、水道、ボイラー業務などの前記に属さない技術員・補助員、労務員など
 事務職員 : 医事事務員、一般事務員など
 役員 : 理事・監事で上記の職種に従事している者を除く
 その他 : 運転手、警備員などで上記の職種に従事しているものを除く

- 1のシートでは、貴病院の病院組織における入院・外来・中央診療部門の歯科および保険外診療の医業収益についてお伺いいたします（貴法人内の関連組織等、病院組織以外の組織は対象外となります）。
- まず、以下の（1）入院部門（病棟）、（2）外来部門（外来診療室）、（3）中央診療部門における歯科（保険内診療・保険外診療）の医療収益と保険外診療の医業収益をご記入ください。
黄色のセルのみご記入ください。
 - ご記入が完了したら、上段の確認表に入力されたデータが反映されますので、シート - 4の値との整合性をご確認ください。
（どちらかの値が未入力の場合、誤差が±10%以上ある場合、確認メッセージが表示されますので、入力した値を再度ご確認ください）

合計(科目)と内訳(入院部門、外来部門、中央診療部門)の確認表
以下の確認表で、各シート間（-4、-1）の整合性をご確認ください。
シート - 1の合計値が、シート - 4の値と等しくなります。

科目	A.平成19年7月分 医業収益 (シート -4の値)	B.合計 a. + b.	a.レセプト集計結果による 保険内診療の医業収益			b.シート -1による 歯科および保険外診療の医業収益		
			入院部門	外来部門	中央診療部門	入院部門 (シート -1 上段の値)	外来部門 (シート -1 中段の値)	中央診療部門 (シート -1 下段の値)
入院診療収益	0円							
室料差額収益	0円							
外来診療収益	0円							
保健予防活動収益								
受託検査・施設利用収益								
その他の医業収益								
合計								
保険等査定減	0円							

AとBの差分(A - B)	誤差割合

AとBのどちらかが未入力となっています。
ご確認ください。
AとBのどちらかが未入力となっています。
ご確認ください。

（1）入院部門（病棟）における歯科および保険外診療の診療科別の医業収益についてご記入ください。

入院部門(病棟) 病棟名はシート - 1を参照しています。

科目	小計	貴院の診療科							
		貴院の診療科1	貴院の診療科2	貴院の診療科3	貴院の診療科4	貴院の診療科5	貴院の診療科6		
		消化器科	内科	科	循環器科	外科	科	整形外科	眼科
入院診療収益	0円								
室料差額収益	0円								
外来診療収益									
保健予防活動収益									
受託検査・施設利用収益									
その他の医業収益									
合計									
保険等査定減	0円								

（2）外来部門（外来診療室）における歯科および保険外診療の診療科別の医業収益についてご記入ください。

外来部門(外来診療室) 診療科名はシート - 1を参照しています。

科目	小計	外来												
		外来1	外来2	外来3	外来4	外来5	外来6	外来7	外来8	外来9	外来10	外来11		
		消化器科	内科	科	循環器科	外科	科	整形外科	眼科	耳鼻咽喉科	呼吸器科	婦人科	脳神経外科	放射線科
入院診療収益														
室料差額収益														
外来診療収益	0円													
保健予防活動収益														
受託検査・施設利用収益														
その他の医業収益														
合計														
保険等査定減	0円													

（3）中央診療部門における部署別の歯科および保険外診療の医業収益に関する情報についてご記入ください。

中央診療部門 部署名はシート - 1を参照しています。

科目	小計	中央診療部門																		
		手術室	心カテ室	心カテ室	検査室	内視鏡室	超音波室	C	T	M	R	I	X	-	P	リハビリ	透析センター	薬局	栄養科	
入院診療収益	0円																			
室料差額収益																				
外来診療収益	0円																			
保健予防活動収益																				
受託検査・施設利用収益																				
その他の医業収益																				
合計																				
保険等査定減	0円																			

- 2のシートでは、貴病院の病院組織における中央診療部門の歯科および保険外診療の医業収益について、各部署における診療科別の内訳をお伺いいたします（貴法人内の関連組織等、病院組織以外の組織は対象外となります）。

- まず、以下の中央診療部門の各部署における歯科（保険内診療・保険外診療）の医療収益と保険外診療の医業収益の診療科別の内訳をご記入ください。
黄色のセルのみご記入ください。
- 各部署の項目には - 1で入力したデータが反映される確認欄が設けてありますので、ご記入がおわりましたら、各部署の診療科別の小計の値とシート - 1の値との整合性をご確認ください。
（どちらかの値が未入力の場合、誤差が±10%以上ある場合、確認メッセージが表示されますので、入力した値を再度ご確認ください）

手術室 部署名はシート -1を参照しています。

診療科名はシート -2、-3を参照しています。

	科目	A. 確認	B. 小計	AとBの差分(A - B)	誤差割合	貴院の診療科1	貴院の診療科2	貴院の診療科3	貴院の診療科4	貴院の診療科5	貴院の診療科6	貴院の診療科7	貴院の診療科8
入院部門(病棟)	診療科名												
	入院診療収益	0円	0円	0円									
外来部門 (外来診療室)	診療科名												
	外来診療収益	0円	0円	0円									

部署

心カテ室
心カテ室
検査室
内視鏡室
超音波室
CT
MRI
X - P
リハビリ
透析センター
薬局
栄養科

- 1のシートでは、貴病院の病院組織における入院・外来・中央診療部門の基礎情報（職種別人員数、面積、給食食数）についてお伺いいたします（貴法人内の関連組織等、病院組織以外の組織は対象外となります）。

1. まず、以下の（1）入院部門（病棟）、（2）外来部門（外来診療室）、（3）中央診療部門、（4）補助・管理部門の基礎情報をご記入ください。

黄色のセルのみご記入ください。

職種別の職員数は、常勤換算値で所属部門別にご記入ください。

各職種職員が所属部門に専属でない場合は、各職種職員の平均的な部門別従事時間比などにより振り分けを行い、ご記入してください。

非常勤の人員数については、職種別に個々の非常勤職員の実労働時間を常勤者の所定労働時間で除して常勤換算し、その個々の換算値を職種別に合計して求めてください。

「面積」は、各フロアの総延床面積から、患者が利用する部分（病室や診療室など）の延床面積を減じて共用スペース（待合や廊下、ナースステーションなど）の延床面積とし、さらに共用スペースの延床面積を患者が利用する部分（病室や診療室など）の延床面積の比で按分・積算し、各部門の延床面積として下さい。食堂などの共用スペースについては補助・管理部門へご記入ください。

2. ご記入が完了しましたら、上段の確認表に入力されたデータが反映されますので、シート - 5の値との整合性をご確認ください。
（どちらかの値が未入力の場合、誤差が±10%以上ある場合、確認メッセージが表示されますので、入力した値を再度ご確認ください）

合計（職種別常勤換算後人員数）と内訳（入院部門、外来部門、中央診療部門、補助・管理部門）の確認表

以下の確認表で、各シート間（-5、 ）の整合性をご確認ください。

の合計値が、シート - 5の値と等しくなります。

職種	A. 職種別人員数データ における常勤換算後人員数 (シート -5右側の値)	B. 基礎情報における入院部門、外来部門、 中央診療部門、補助・管理部門の 職種別合計人員数 (シート 左側の合計値)			
		入院部門	外来部門	中央診療部門	補助・管理部門
看護師	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
准看護師	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
看護補助員（介護職含む）	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
薬剤師	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
理学療法士、作業療法士、言語聴覚士	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
栄養士	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
MSWや放射線技師等、その他の医療技術員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
技能労務員・労務員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
事務職員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
病院長	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
役員	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
その他	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人

AとBの差分 (A - B)	誤差割合
0.00人	
0.00人	
0.00人	
0.00人	
0.00人	
0.00人	
0.00人	
0.00人	
0.00人	
0.00人	
0.00人	
0.00人	
0.00人	
0.00人	
0.00人	

- (1) 病棟別の基礎情報（入院部門）についてご記入ください。

入院部門(病棟)

病棟名はシート -1を参照しています。

	合計（自動計算）	病棟1	病棟2	病棟3	病棟4	病棟以外の業務	病院以外の業務
看護師数	0.00人						
准看護師数	0.00人						
看護補助員数（介護職含む）	0.00人						
薬剤師数	0.00人						
理学療法士、作業療法士、言語聴覚士数	0.00人						
栄養士数	0.00人						
MSWや放射線技師等、その他の医療技術員数	0.00人						
技能労務員・労務員数	0.00人						
事務職員数	0.00人						
病院長数	0.00人						
役員数	0.00人						
その他の職員数	0.00人						

面積	0.0 m ²					
給食食数	0食					

職種別の職員数は、常勤換算値で所属部門別にご記入ください。

各職種職員が所属部門に専属でない場合は、各職種職員の平均的な部門別従事時間比などにより振り分けを行い、ご記入ください。

非常勤の人員数については、職種別に個々の非常勤職員の実労働時間を常勤者の所定労働時間で除して常勤換算し、その個々の換算値を職種別に合計して求めてください。

「面積」は、各フロアの総延床面積から、患者が利用する部分（病室や診療室など）の延床面積を減じて共用スペース（待合や廊下、ナースステーションなど）の延床面積とし、さらに共用スペースの延床面積を患者が利用する部分（病室や診療室など）の延床面積の比で按分・積算し、各部門の延床面積として下さい。食堂などの共用スペースについては補助・管理部門へご記入ください。

(2) 外来診療科別の基礎情報(外来部門)についてご記入ください。

外来部門(外来診療室)

外来診療科名はシート -1を参照しています。

	合計(自動計算)	外来1	外来2	外来3	外来4	外来5	外来6	外来7	外来8	外来9	外来診療室以外の業務	病院以外の業務
看護師数	0.00 人											
准看護師数	0.00 人											
看護補助員数(介護職含む)	0.00 人											
薬剤師数	0.00 人											
理学療法士、作業療法士、言語聴覚士数	0.00 人											
栄養士数	0.00 人											
MSWや放射線技師等、その他の医療技術員数	0.00 人											
技能労務員・労務員数	0.00 人											
事務職員数	0.00 人											
病院長数	0.00 人											
役員数	0.00 人											
その他の職員数	0.00 人											

面積	0.0 m ²											
給食数	0 食											

職種別の職員数は、常勤換算値で所属部門別にご記入ください。

各職種職員が所属部門に専属でない場合は、各職種職員の平均的な部門別従事時間比などにより振り分けを行い、ご記入ください。

非常勤の人員数については、職種別に個々の非常勤職員の実労働時間を常勤者の所定労働時間で除して常勤換算し、その個々の換算値を職種別に合計して求めてください。

「面積」は、各フロアの総延床面積から、患者が利用する部分(病室や診療室など)の延床面積を減じて共用スペース(待合や廊下、ナースステーションなど)の延床面積とし、さらに共用スペースの延床面積を患者が利用する部分(病室や診療室など)の延床面積の比で按分・積算し、各部門の延床面積として下さい。食堂などの共用スペースについては補助・管理部門へご記入ください。

(3) 中央診療部門の基礎情報についてご記入ください。

中央診療部門

部署名はシート -1を参照しています。

	合計(自動計算)										部門以外の業務	病院以外の業務
看護師数	0.00 人											
准看護師数	0.00 人											
看護補助員数(介護職含む)	0.00 人											
薬剤師数	0.00 人											
理学療法士、作業療法士、言語聴覚士数	0.00 人											
栄養士数	0.00 人											
MSWや放射線技師等、その他の医療技術員数	0.00 人											
技能労務員・労務員数	0.00 人											
事務職員数	0.00 人											
病院長数	0.00 人											
役員数	0.00 人											
その他の職員数	0.00 人											

面積	0.0 m ²											
給食数	0 食											

職種別の職員数は、常勤換算値で所属部門別にご記入ください。

各職種職員が所属部門に専属でない場合は、各職種職員の平均的な部門別従事時間比などにより振り分けを行い、ご記入ください。

非常勤の人員数については、職種別に個々の非常勤職員の実労働時間を常勤者の所定労働時間で除して常勤換算し、その個々の換算値を職種別に合計して求めてください。

「面積」は、各フロアの総延床面積から、患者が利用する部分(病室や診療室など)の延床面積を減じて共用スペース(待合や廊下、ナースステーションなど)の延床面積とし、さらに共用スペースの延床面積を患者が利用する部分(病室や診療室など)の延床面積の比で按分・積算し、各部門の延床面積として下さい。食堂などの共用スペースについては補助・管理部門へご記入ください。

(4) 補助・管理部門の基礎情報についてご記入ください。

補助・管理部門	合計 (自動計算)	部署名はシート -1を参照しています。										部門以外の業務		病院以外の業務	
看護師数	0人														
准看護師数	0人														
看護補助員数(介護職含む)	0人														
薬剤師数	0人														
理学療法士、作業療法士、言語聴覚士数	0人														
栄養士数	0人														
MSWや放射線技師等、その他の医療技術員数	0人														
技能労務員・労務員数	0人														
事務職員数	0人														
病院長数	0人														
役員数	0人														
その他の職員数	0人														

面積	0.0 m ²														
給食数	0食														

職種別の職員数は、常勤換算値で所属部門別にご記入ください。

各職種職員が所属部門に専属でない場合は、各職種職員の平均的な部門別従事時間比などにより振り分けを行い、ご記入ください。

非常勤の人員数については、職種別に個々の非常勤職員の実労働時間を常勤者の所定労働時間で除して常勤換算し、その個々の換算値を職種別に合計して求めてください。

「面積」は、各フロアの総延床面積から、患者が利用する部分(病室や診療室など)の延床面積を減じて共用スペース(待合や廊下、ナースステーションなど)の延床面積とし、さらに共用スペースの延床面積を患者が利用する部分(病室や診療室など)の延床面積の比で按分・積算し、各部門の延床面積として下さい。食堂などの共用スペースについては補助・管理部門へご記入ください。

調査4 医師勤務調査 記入要領

1. 調査目的

- 病院の診療科部門別収支算定にあたって、病院の費用に占める割合が大きい医師の人件費を診療科別に割り振る必要があります。「医師勤務調査」では、平成20年10月の貴病院の診療科別医師勤務時間の割合を調査し、診療科への医師人件費の計上を行うための基礎資料とします。

■調査概要まとめ

項目	内容
調査期間	平成20年10月(1ヶ月間)
調査対象	貴病院に勤務する全ての医師(常勤・非常勤を問わず)
調査項目	診療科別の医師個人の経験年数、給与額、1ヶ月間の勤務状況
提出方法	「医師勤務調査」調査票に、診療科別の医師の勤務状況等を記入してください。 記入した調査票は、「部門別調査アドレス(×××)」宛に返送してください。

3. データ作成にあたって

■作業概要

☞ 記入方法

「医師勤務調査」調査票(エクセルファイル)の「記入方法」シートに従って入力してください。
シートは、貴病院の診療科単位になっています。診療科に所属する医師毎の勤務時間割合(概数)を記入してください。
なお、本調査にあたって厳密なタイムスタディ等は必須ではなく、各診療科の管理者等が把握する範囲で入力していただければ結構です。

■「診療科別」シート

☞ 「診療科名」

各シートは貴病院の診療科毎に作成してあります。該当診療科のシートに所属医師の属性や勤務状況を入力してください。

☞ 「医師」

診療科に所属する医師を、A、B等にアルファベット化してください。

☞ 「医師の属性：勤務体系、経験年数など」

調査票のプルダウンメニューから、該当するものを選んでください。

☞ 「医師の給与」

個々の医師の「平成20年10月の月間給与」または「年間給与の1/12」の金額を記入してください。

給与は、賞与を含み、法定福利費等は含めないでください。

☞ 勤務時間

個々の医師の平成20年10月(1ヶ月間)の勤務時間合計を記入してください。

☞ 勤務実績

個々の医師の平成20年10月における業務別勤務時間の割合を、全体が100%となるように記入してください。

1. 調査内容

貴病院の診療科別医師勤務時間の部門別割合を把握することを目的としております。
本調査で得られたデータをもとに、入院、外来診療科別の医師給与費の一次計上を行います。

当該診療科に所属する医師の人数をご記入下さい。

(医師勤務調査)

診療科名

所属医師数

医師	医師の属性			一ヶ月合計	病院以外の業務 学会活動、教授会、他院診療、研究日、出張・会議	診療に係る行為													
	勤務体系	経験年数など	年間給与額 (単位: 百万円)			外来	貴院の入院部門			貴院の中央診療部門			貴院の補助・管理部門		当直	臨床研修医等の教育・研修	疾病カンファレンス	検診センター等保険外診療	その他 (保険診療)
									C部門		F部門								
A	常勤	経験年数30年以上		0.6	0.6	0.2			0.2										
B	非常勤	経験年数5年未満		0.2	0.2	0.5			0.3										
C	常勤	経験年数10年以上20年未満		0.6	0.6	0.3			0.1										
D	常勤	経験年数20年以上30年未満	0百万円	0.7	0.7	0.2			0.1										
E		経験年数30年以上		0.0															
F				0.0															
G				0.0															
H				0.0															
I				0.0															
J				0.0															
K				0.0															
L				0.0															
M				0.0															
N				0.0															
O				0.0															
R				0.0															
合計(勤務実績別人員数)				4.00	0.00	2.10	0.70	0.30	0.20	0.00	0.60	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

所属医師数と票に記入いただいた医師の人数が一致しない場合に表示されます。

当該診療科に所属する医師人数に相当する行数分、ご記入下さい。(例えば、医師が5人いらっしゃる場合は、A~Eの欄に個別にご記入下さい。)

医師の属性に関しては、下記分類をご参照下さい。

記入時には、下記の要領にもとづきご記入下さい。

勤務体系	経験年数など	年間給与額
常勤	研修医	100万円単位で入力
非常勤	経験年数5年未満	
	経験年数5年以上10年未満	
	経験年数10年以上20年未満	
	経験年数20年以上30年未満	
	経験年数30年以上	

- 個々の医師について、医師の属性を下段の分類に基づいて入力します。
経験年数については、臨床経験年数とし、非常勤であっても診療に従事している期間は臨床経験年数に参入します。
所属部署や勤務実績別人員については、極力部署に紐付けしてください。
- 診療科別・部門別に1月の勤務実績別人員を入力します。
勤務実績別人員は、例えば2007年7月は一般的な営業日が21日であることから、8時間×21日=168時間/月として計算します。
当該診療科において1ヶ月に168時間働かれた医師は「一ヶ月合計」欄(自動計算部分)が1.0、1ヶ月に252時間働かれた医師は「一ヶ月合計」が1.5となります。
各医師について、これを、勤務実績にもとづき表頭部の各部門に分解の上、ご記入ください。
(例えば、外来に0.7(=117.6時間)、C部門に0.2(=33.6時間)、F部門に0.1(=16.8時間)と記入された場合は、当該医師が1ヶ月168時間勤務されており、一ヶ月合計は1.0となります。)
1人の医師が複数診療科を兼務している場合は、同様の考え方により勤務実績別人員をそれぞれの診療科に入力します。
- 「病院以外の業務」とは、自院外での医療活動(研究日、学外業務(アルバイト)、診療応援等)、会議・出張、学会活動、研究活動とします。また、研修・教育については、病院内の患者に対する診療行為を伴う場合「臨床研修医の教育」、それ以外は「病院以外の業務」とします。
- 診療科への所属が不明な医師については、診療科名を「その他」として入力ください。

調査5 実施場所調査 記入要領

1. 調査目的

■ この「医療機関の部門別収支に関する調査（以下、部門別調査という。）」では、病院で発生した収益・費用を、それが発生した病院の各部署（入院・外来の各診療科；中央診療部門の手術・検査等の各部署、補助・管理部門の各部署）に計上します。このうち、手術・検査等の診療行為は、中央診療部門以外の場所で実施されるケースもあるため、収益・費用の正確な計上のためには、それぞれの診療行為が主はどこで実施されたかを把握する必要があります。

そこで、この「実施場所調査」では、平成20年10月に貴病院で発生した診療行為がどこで実施されたものかを調査し、診療科部門別収支の算定に反映させることを目的とします。

2. 調査概要

■調査票の構成

実施場所調査（エクセルファイル）は、以下シートで構成されています。

記入方法 「手術」「検査」「画像診断」 の記入方法	1.「手術」シート 手術の実施場所を記入	2.「検査」シート 検査の実施場所を記入	3.「画像診断」シート 画像診断の実施場所を記入
---------------------------------	-------------------------	-------------------------	-----------------------------

■調査概要まとめ

項目	内容
調査期間	平成20年10月（1ヶ月間）
調査項目	手術、検査、画像診断の各診療行為別の実施場所の割合
提出方法	「実施場所調査」調査票の実施場所欄に、その診療行為が実施されている場所の割合を記入してください。 記入した調査票は、「部門別調査アドレス（×××）」宛に返送してください。

3. データ作成にあたって

■作業概要

☞ 記入方法

「実施場所調査」調査票（エクセルファイル）の「記入方法」シートに従って入力してください。

☞ 実施場所の割合

貴病院で各診療行為がどこで実施されているかについて、その実施場所の割合を概数で記入してください。

■共通

☞ 診療行為に関するデータ（参考情報）

貴病院の「レセプト調査」のデータから、平成20年10月に貴病院で発生した手術・検査・診療行為のデータ（コード、区分、診療行為名）と、レセプト診療科別、入院・外来別の実施件数を記載しました。これらのデータを参考にして、調査票右側（黄色いセル）にデータを記入してください。

☞ 実施場所入力箇所

「実施場所」の箇所には、第2ステップ「部門設定調査」で記入された貴病院の部門名、病棟名が記載されています。当該診療行為が貴病院のどの部署で実施されているかを、全体を100とした割合で記入してください。把握できない診療行為については、主に実施されている場所に「100」と入力してください。

（例）

- ①ある診療行為（検査）が、「中央検査室」で9割程度、「東2階（病棟）」で1割程度実施されているのであれば、「中央検査室」に「90」、「東2階（病棟）」に「10」と入力してください。
- ②ある診療行為（手術）は全て手術室で実施されているが、「第1手術室」と「第2手術室」の実施割合が把握できない場合は、「第1手術室」「第2手術室」どちらかに合計の割合（「100」）を入力してください。（「第1手術室：100」、「第2手術室：0」）

1. 調査内容

医科診療報酬点数 特掲診療料「K:手術」、「D:検査」、「E:画像診断」の各診療行為の実施場所を把握することを目的としています。

事務局では、標準的等価係数を用いた入院、外来診療科別収支計算の一次形状時に該当診療行為が実際に行われている部門に収益、費用を計上する際の係数として使用します。

本調査票は、貴院から提供頂いた「レセプト・データもしくはEファイル」のデータを事務局で集計し、その結果をもとに診療実績に基づき調査票を作成しお送り致します。

2. 調査対象月

平成19年7月の状況

場所名は入力ファイルでご記入いただいた貴病院の部門名・病棟名を入力してお送りします

【診療行為実施場所に関する調査：シート記入例】

黄色のセルにのみご入力下さい

内訳が不明の場合、主に実施する

手術の実施場所に関するデータ

参考

コード	区分	診療行為名	診療科別実施件数				入院外来別実施件数		実施件数合計	実施場所						合計
			A科	B科	C科	...	入院外	入院		第1手術室	中央検査室	科	××科	東階	西階	
K**1	皮膚、皮下組織	処理	100	50	0		80	70	150	100%	0%	0%	0%	0%	0%	100%
K**2	皮膚、皮下組織	××切開術	80	30	30		30	110	140	50%	0%	50%	0%	0%	0%	100%
K**3	皮膚、皮下組織	顕微鏡検査	50	0	0		5	45	50	0%	0%	0%	100%	0%	0%	100%
...							

合計欄はその行（診療行為）に記入した値（%）の合計値を自動的に計算して表示します。入力後に合計が100%と表示されているかご確認下さい

ご提出いただいたレセプト・データ（またはEファイル）を当方で集計して、貴病院で実施された

内訳が不明の場合、主に実施する

検査の実施場所に関するデータ

参考

コード	区分	診療行為名	診療科別実施件数				入院外来別実施件数		実施件数合計	実施場所						外注	合計
			A科	B科	C科	...	入院外	入院		第1手術室	中央検査室	科	××科	東階	西階		
D**1	検体検査	検査	30	50	0		40	40	80	100%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	100%
D**2	検体検査	××力学的検査	40	0	0		30	10	40	100%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	100%
D**3	検体検査	ガス分布	0	20	10		5	25	30	0%	100%	0%	0%	0%	0%	0%	100%
...								

検体検査など、検査を外注委託している場合は「外注」列に割合をご記入ください

ご提出いただいたレセプト・データ（またはEファイル）を当方で集計して、貴病院で実施された

内訳が不明の場合、主に実施する

画像診断の実施場所に関するデータ

参考

コード	区分	診療行為名	診療科別実施件数				入院外来別実施件数		実施件数合計	実施場所						合計
			A科	B科	C科	...	入院外	入院		第1手術室	中央検査室	科	××科	東階	西階	
E**1	エックス線診断料	診断	30	0	0		20	10	30	80%	0%	20%	0%	0%	0%	100%
E**2	エックス線診断料	××診断	10	5	10		20	5	25	100%	0%	0%	0%	0%	0%	100%
E**3	エックス線診断料	撮影	0	0	20		10	10	20	100%	0%	0%	0%	0%	0%	100%
...							

ご提出いただいたレセプト・データ（またはEファイル）を当方で集計して、貴病院で実施された診療行為のみ抜粋し、実施件数を記入してあります